

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 21.3.4 第 171 回国会第 1 号

3月4日(水)、第1回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 笹木 竜三君(民主)(理事細野豪志君去る平成20年12月26日委員辞任につきその補欠)

2 国政調査承認要求に関する件

- ・以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。
 - 農林水産関係の基本施策に関する事項
 - 食料の安定供給に関する事項
 - 農林水産業の発展に関する事項
 - 農林漁業者の福祉に関する事項
 - 農山漁村の振興に関する事項

3 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・石破農林水産大臣から所信を聴取しました。
- ・平成21年度農林水産関係予算の概要について、石田農林水産副大臣から説明を聴取しました。
- ・石破農林水産大臣、石田農林水産副大臣、江藤農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

仲野博子君(民主)

- ・加工原料乳生産者補給金制度の補給金単価及び限度数量について、現行以上に設定すべきではないか。また、生産費と販売価格との差額を基本に交付金を交付する畜産・酪農の所得補償制度を導入すべきではないか。
- ・国産乳製品の新たな需要開拓に向けて、ブラウンスイス種の導入をはじめとする国産チーズの振興等に積極的に取り組むべきではないか。
- ・バイオガス発電を推進する観点から、太陽光や風力発電と差を設けず、遜色のない価格で買い取る「固定価格買取制度」を導入すべきではないか。

大串博志君(民主)

- ・諫早湾干拓事業に関し、佐賀地方裁判所判決において「潮受堤防の締切りと諫早湾内及びその近傍場の環境変化との間の因果関係については、相当程度の蓋然性の立証はされている」とされた。国は控訴せずに中・長期の開門調査をすべきではないか。
- ・国は、開門調査をすると予測不可能な重大被害が出るかもしれないと言い、被害の程度を問えば、予測不可能と説明し、禅問答のような説明で問題ではないか。

- ・鳩山法務大臣(当時)は、「開門調査をする腹を決めて、そのためのアセスを実施する等の約束を若林農林水産大臣と取り付けた上で、福岡高裁への控訴の手続きをとった」としているが、これに対して石破農林水産大臣はどのように考えるか。

飯島夕雁君(自民)

- ・生産調整を実施しつつ、良質な米の生産に取り組んでいる農家の現状について農林水産大臣はどのように認識しているか。
- ・青刈りとうもろこし生産緊急拡大事業について、麦・大豆等との輪作体系に組み込めるよう、事業実施農地の飼料基盤としての利用期間(5年間)要件を緩和すべきではないか。
- ・酪農だけでなく農政全般に共通することとして、制度の簡素化と地域の実情に沿った要件の緩和が必要ではないか。

井上義久君(公明)

- ・肥育牛経営安定対策及び肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業について、制度の見直しを含めて拡充を図るべきではないか。

- ・肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業について、財源が枯渇している地域があることを踏まえ、財源の確保を含めどのように対応していくのか。
- ・農政の見直しの議論が農家に不安を与えることのないよう、農家に対する情報提供に当たって十分留意する必要があるのではないか。

大 串 博 志君(民主)

- ・諫早湾南部で発生した赤潮のため、のりの色落ち被害が生じ、漁家の収入が激減しているが、政府の支援対策や原因説明についてどのように考えているか。
- ・集落営農について、所得の変化や共同作業の実態等を調査するつもりがあるか。
- ・水田・畑作経営所得安定対策の導入に伴う集落営農の組織化の推進により、認定農業者の経営発展が阻害される等の様々な問題が発生しているが、農林水産大臣はどのように考えるか。

石 川 知 裕君(民主)

- ・「農政改革関係閣僚会合」においては、米の生産調整や農地制度の見直しに主眼が置かれているように思われるが、畜産・酪農政策の方向性についてはどのような議論を展開していくつもりか。
- ・牛乳と乳製品の消費拡大対策について、具体的にどのように取り組んでいくのか。
- ・酪農ヘルパーに対する認識及び酪農ヘルパー利用拡大推進事業の平成 22 年度以降の取扱いについて、農林水産大臣はどのように考えているのか。

菅 野 哲 雄君(社民)

- ・小規模では成り立たず、大規模化しても経営が厳しい酪農・畜産に対して農林水産大臣はどのように認識しているか。
- ・水田フル活用における飼料用米の作付面積や生産量についてどの程度を見込んでいるのか。
- ・政府の農政推進の基本的考え方は、集約化、大規模化、株式会社化に舵を切ったように見えるが、農林水産大臣はどのように考えるか。

4 平成 21 年度畜産物価格等に関する件

- ・宮下一郎君外 3 名(自民、民主、公明、社民)から提出された「平成 21 年度畜産物価格等に関する件」の決議案について、提出者宮下一郎君(自民)から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
(賛成 自民、民主、公明、社民)
- ・石破農林水産大臣から発言がありました。